

# 年金が増えるかもしれない！？

<年金記録を探すならプロフェッショナルの年金探偵におまかせ>

皆様の年金額は正しく計算されていますか？

## <年金記録問題>

平成 19 年に、約 5,095 万件の持主不明の年金記録が判明しました。日本年金機構(年金事務所)が、いろいろな調査を行った結果約 3,000 万件の持主を判明させご本人の記録に統合させています。しかし、年金記録問題が発覚して 10 年以上たった今もなお約 2,000 万件の記録の持主が判明していない状況です。



## <皆様の埋もれている年金記録をみつけよう！>

皆様の年金記録をもう一度確認してみてください！もしかしたら埋もれている記録があるかもしれません。また、自分では厚生年金に加入していないと思っていた会社が実は厚生年金に加入していた場合もよくあります。



## <記録が見つかったと年金額は増える！？>

埋もれていた記録が見つかった場合、ほとんどのケースで年金額は増えます。また、増えるのは勿論ですが、過去 5 年間にさかのぼって貰っていなかった分の年金を貰うことも可能です。さらに場合によっては、年金発生時期までさかのぼって貰える場合もあります。

## <記録が見つかって年金が増える例>

年金額 100 万円を貰っている 80 歳の年金花子さんは、結婚する前に働いていた会社の厚生年金記録が見つかりました。その結果、年金額が 130 万円に増額されました。未来に向かって増額されることは勿論ですが、過去 5 年さかのぼって差額分の 130 万円(本来の年金額) - 100 万円(現在の年金額) × 過去 5 年分 = 150 万円を貰うことが可能です。

さらに、年金花子さんのケースは年金の発生時期までさかのぼって差額分を貰える事が判明しました。年金花子さんの年金の発生時期は 60 歳になりますので、130 万円(本来の年金額) - 100 万円(現在の年金額) × 15 年分(60 歳 ~ 75 歳まで) = 450 万円も上記の年金以外に貰うことが可能です。

結果、年金花子さんは、150 万円 + 450 万円 = 600 万円もの年金を一時金で受けとれて大喜びしました。

こんな人の年金記録が漏れやすい

# こんな人の年金記録が漏れやすい



## ① ご結婚して苗字がかわったことがある女性(男性)の方

→年金機構は原則、氏名と生年月日で記録調査を行っています。

ただし、年金機構は皆様の旧姓を把握しておりませんので、旧姓で若いころにアルバイト等をしている場合にその記録がもれていることが多々あります。

## ② 転職を多くされている方

→転職を多くされていると途中の記録がもれている場合が多々あります。



## ③ 若いころに自衛隊に入隊したことがある方

→共済組合の記録の中で、特に自衛隊に入隊していたころの国家共済組合員期間が漏れている場合が多々あります。

## ④ 複数の年金手帳や古い厚生年金被保険者証を持っている方

→昔は、年金番号が1人に複数発行されていましたが、平成9年に年金番号は1人1つにすることが決定され、それまでの複数の年金番号はその時に1つに集約されました。しかし、複数ある方に関してはその当時に全部集約しきれていない状況が多数見受けられます。

その他にも、様々な理由でいろいろな人の記録が漏れている状態です。

なかには、2,000万円以上もの大金がさかのぼって支払われた人もいます！！

あなたの記録が、持主不明の約2,000万件の記録の中にあるかもしれません！  
さあ、あなたも年金記録調査を行ってみませんか？

当事務所は、調査については無料で行っています！！

調査した結果、記録が判明し年金額が増額された場合にのみ費用を頂戴する完全成功報酬制です。



また、埋もれている記録を見つけるのにはちょっとしたコツもあります。  
当事務所はそのコツを熟知していますので、是非、当事務所で調査を行ってみませんか？

上原社会保険労務士事務所

